

社会福祉法人やまびこの会

やまびこ保育園 のがわであそぼう

6月16日(火)10:00~11:00

対象：0~3歳親子

地域支援だより



6月

子どもたちにとって、毎日は“はじめて”の連続。
自然の中に出かけると、そのワクワクは何倍にもふくらみます。
おひさまの光を浴びて、心地よい風を感じるだけで、心も体もリフレッシュ。
なんだか体中の細胞までよこんでいるような気分になります。
一緒に、野川公園でのんびり楽しい時間を過ごしませんか？

※当日は汚れてもいい格好といつものお出かけの準備をして、やまびこまでお越しください。
※お申し込みはお電話をお願いします。

知ってる！？「赤ちゃん・ふらっと」

誰でも自由に使える
赤ちゃんとその家族のためのスペースです

子どもと一緒に野川公園・武蔵野公園に遊びにきたけど・・・。
授乳したいけれど・・・、おむつ交換したいけれど・・・。
そんな時、気軽に立ち寄っていただけるように、
やまびこ保育園は、どなたでもご利用いただける、おむつ交換台、授乳用
スペース（イス、お湯、哺乳瓶）などを用意しています。
疲れたので、ちょっと一休み・・・も、もちろんOK！
保育園が開所している時間（7:00~20:00）は、
いつでも利用できますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。



アクセス

社会福祉法人やまびこの会 やまびこ保育園

〒183-0002 東京都府中市多磨町2-56

TEL 042-362-2402

※お問合せ各お申し込みはお電話をお願いします。



Instagram Home Page





やまびこ保育園の地域支援



やまびこ保育園は、地域に根ざした保育園でありたいと願っています。子どもたちや保護者のみなさんはもちろん、地域に暮らす方々にとっても「ちょっと立ち寄れる場所」「顔の見えるつながりがある場所」になれたらと思っています。

園のまわりには、野川公園や武蔵野公園など、地域の財産ともいえる豊かな自然があります。

四季折々の草花や生きもの、広い空や心地よい風は、子どもも大人もやさしく包み込んでくれます。

私たちは、こうした恵まれた環境を地域のみなさんと一緒に味わいながら、自然の中で心を動かす体験を共有していきたいと考えています。

同じ景色を見て「きれいだね」と言い合える時間は、人と人の距離をぐっと近づけてくれます。

また、やまびこ保育園に気軽に足を運んでいただくことで、当園が大切にしている理念や日々の保育の思いを知っていただき、少しずつ好きになってもらえたらうれしいです。

園庭開放や赤ちゃんひろばなどを通して、保育園を「特別な場所」ではなく、「身近であたたかい場所」と感じていただけるよう努めています。

子育ては喜びにあふれる一方で、不安や戸惑いを感じることもあります。私たちは、そんな親御さんの味方でありたいと思っています。

「こんなこと相談してもいいのかな」と迷うようなことでも、どうぞ安心してお話しください。

地域のみなさんと手を取り合いながら、子育てがより豊かで幸せなものになるようお手伝いしていきたいと思えます。

どうぞお気軽に足をお運びください。

みなさんと出会えることを、心から楽しみにしています。



おいでよ！やまびこ保育園



やまびこ保育園では、まだ保育園に通所していない未就園のお子さまとご家族に気軽に足を運んでいただく機会がいくつかあります。



園庭開放

6月10日(水)
10:00~11:00

やまびこ保育園のお庭でたっぷり遊んでいただける日です。どろんこになってもいい格好でお越しください！

赤ちゃんひろば

6月30日(火)
10:00~11:00

月に数回、やまびこ保育園に常駐している、保育士・看護師・栄養士などに気軽に相談できる子育てサロンです。もちろん「誰かと雑談したい！」というのモOK♪

親子クッキング

隔月で開催
次回は7月です！
おたのしみに

お子さまと一緒に、簡単なクッキングをしながら、栄養士や保育士のおしゃべりを楽しみます。できあがったおいしいものを食べながらゆったり過ごしましょう♪



やまびこ通信



6月に入り、園庭にはサンシェードを張りました。日差しの強さに、

「いよいよ夏が始まるなあ」と感じています。

私は8月生まれの子で、じりじりと肌を焼く日差しや、背中をつたう汗さえも、なんだか夏らしくてワクワクしてしまいます。暑い中でも、園庭で水をじゃーじゃー出しながら遊ぶ子どもたちの姿を見ると、同じように夏ならではのわくわくを感じ合っている気がします。

とはいえ、最近の日差しは、私が子どものころとは比べものにならないほど強く感じます。しっかりとした対策が大切ですね。やまびこ保育園でも、サンシェードに加え、園庭にミストを設置する準備を進めています。

暑さ対策をしながら、夏ならではの楽しさを思いやり感じられるように、楽しい夏に向けて準備万端。

「いつでも来い、夏！」そんな気持ちで子どもたちと過ごしていきたいと思えます。

(地域支援担当：柏木いづみ)